

間もなく桜の季節を迎えます。久米山を掃除した後に会社のみんなで花見をしたいね。昨年からの中谷社長の願い、叶うといいですね。

ごけい たより
互惠便り 第36号

創業以来100余年、幸せな明日へ折りの心を…
NS 中谷石材株式会社
〒761-0121
高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006



2月12日(月) 高松市内にて
写真撮影 大川工場 奥野 武

どうやら、今年の春は早そうですよ

「あんとんとこの社長は、なかなかいいこと書いてるな。わしも一緒に草むしりに参加して、目標が持ってみたいなあ。」

最近、久米山墓地にお参りに来られるお客様から、よくこんな言葉をかけられます。わが社の「互惠便り」を楽しみにして読んでくれているそうです。うれしいことですね。

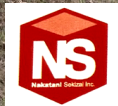
既存の墓石事業が斜陽という厳しい状況の当社ですが、先日、会社の方針のひとつである定年後の雇用継続と、社員の雇用を守るためにも、より一層力を合わせて草むしり事業に邁進して、終生就業支援を果たしていくと発表がありました。

「互惠便り」の草むしり日記を読みましても、70才超えの社員やアルバイトの方が沢山紹介されています。年の割には皆さん元気で、ワイワイと楽しみながら頑張っておられますね。そういう私も、現在75才で、以前この紙面で紹介してもらったことのある、まだまだひよっこです。笑

ということですが、私もまだまだお山(久米山)の参拝の方の為に、少しでもお役に立てればと頑張っています。今年の春は、どうぞ久米山の桜を見においでください。きれいですよ。

『高松久米山やすらぎの杜』
お世話係 大西達雄





新しい体制で事業に取り組んでいます

1月26日(土)「高松久米山 やすらぎの杜」を全社で環境整備しました

気持ち良くやすらぎの杜にお参りに来て頂きたいと願って

今年最初の一斉環境整備は、『高松久米山やすらぎの杜』でした。昨年の年末から樹木葬の販売を開始しましたが、お陰様でお問い合わせや見学も多く、早速ご契約いただいたお客様もいらっしゃいます。ありがとうございます。

当社ではここをご利用いただく皆様に、少しでも気持ち良くお参りに来ていただきたいと願い、墓地公園内の環境整備を進めています。なにしろ広い敷地で、緑が豊かとあって樹木の枯葉も多く、担当者はその片付けに追われている毎日です。

片付けても片づけても、降り積もってしまう枯葉との追いかっこのような久米山で、この日はたくさんの仲間と一緒に気持ち良く掃除しました。ご紹介する写真は、やすらぎの杜の随所で黙々と掃除をしていた仲間たちの様子の、そのほんの一部です。

普段は、ここのお世話係として駐在している大西さんが、仏花の回収や通路の掃除などを努めて毎日清掃を行うことで清潔に保たれるようになり、喜んでいただけるようになりました。

ここでの当社の目標は、やすらぎの杜を高松で一番きれいな墓地公園にすることです。これからも、気持ちよくお参りに来ていただける墓所を目指して社内全体で努力を続けて参ります。



2月13日(火)

久米山 やすらぎの杜

墓石は汚れを落とすと輝きを取り戻します

墓石・現場クリーニング



丁寧に手洗することで、墓石は本当にきれいになります。お天気にも恵まれて気持ちよくクリーニングすることができました。

この日の久米山の現場は、中川さんと大ベテランの田岡さんが、お墓のクリーニングに汗を流していました。
丁寧に磨いた墓石は、写真で見てもその違いが一目瞭然ですね。この日のクリーニングで、本来の石の美しさを取り戻しました。きっと、お墓を守っている依頼主様だけでなく、ご先祖様も喜んで下さったことと思います。心を込めて磨かせていただきました。





NS 中谷石材(株)
わたしの仕事



「切削」



岸本 久史

皆さん初めまして。
中谷石材の岸本久史です。庵治工場
で切削の仕事をしています。よろしくお
願いします。

私は1972年(昭和47年)生まれで
今年で51才になりました。京都市の出
身で、上京区の北野天満宮の近くで育
ちました。

京都市で、西陣織職人の 両親の下で育ちました

父も母も京都の人間で、2人とも西陣
の織りの職人をしていました。なの
で、子どもの頃は家でずっと織りの
音が聞こえていた記憶があります。し
かし昭和50年代になり、着物の需要
が少なくなるとは較べようもないほどに減
り、仕事が無くなっていったそうです。
そこで織りの仕事を廃業して、縁が
あって家族で、「こ香川」とやって来ま
した。それが私が小学校6年生のとき
でした。

中学校を卒業すると私は、プラスチック
のボタンを製造する工場に勤めまし
た。本社は大阪の会社で、中谷の大川
工場のわりと近くに工場がありまし
た。入社したのが1987年だったで
しょうか、いわゆるバブルの時代です
ね。まあ仕事は忙しく残業もよくしま
したが、バブルが弾けるとばったりと
自分の仕事は少なくなりました。それ
で転職を考えて、庵治工場の前身であ
るマル伊石材に入社したのが二十才の
ときでした。

工場での切削の仕事をする事になっ
たのですが、何も分からない私に、当時
の社長さんがとても丁寧に仕事を教え
てくれました。有り難かったです。おか
げで途中で辞めることなく、この石の
仕事の世界で一人前の職人になること
が出来ました。

バブル崩壊後の転職で 「石」の仕事に出会う

入社したのはバブル崩壊後でしたが、
当時の石屋さんには忙しかったです。忙
しいときに、切削で大事なことは早く
石を挽くことでした。そのためには早
く機械を動かすことなのですが、仕事
の段取りや工程を考えて、工夫を重ね
ました。切削は工場でも最初の工程で
から、できるだけ早く次の工程に石を
渡すことに、いつも頭を使いました。も
う一日があつという間に過ぎていきま
した。

しかしどんなに考えて工夫をして石
を切つても、断面に黒玉やキズがある
場合があります。石は6つの面を一面
ずつ切るわけですが、最後の面がダメ
なこともあります。さらには切削から
「磨き」の工程に行つて磨いてからキズ
が浮いてくる場合もあります。そうす
ると、やり直します。

黒玉が出る、キズがある、目合いがよ
くないなど、商品として好ましくない
事態はどこまでも起きえますが、今の
私は、「出るもんはしょうがない」と思
えるようになりました。

石は自然のもの。人間の思 うとおりにはいきません。

石は、自然のものなんです。人間
の思うとおりになんか行きません。そ
もそも自然の中に(人間にとつて)良い
石があつてこそですが、自然は人間の
都合に合わせて石を採らせてはくれま
せん。自然がくれた今あるもので何
とかしないと。そんなふうと考えて仕
事をしています。

休日の楽しみはバイクに乗ること
です。アメリカンタイプのホンダの愛
車が出かけるのが、仕事の息抜きです。
自分の思い通りにバイクを操縦して走
り、人の思い通りにはならない自然を
眺めるのが楽しいです。仕事でもオフ
の日でも、自然と対話して充実した毎
日をこれからも送っていきたいと思っ
ています。



庵治工場 岸本久史

いつも寡黙な岸本さん。
小柄な方ですが、こんな
に大きなバイクに乗って
出かけているんですね。
楽しんでくださいね〜♪





はかもり
当社は「墓守」だけではありません。



「家」と「庭」の守り人としても
お客様のお役に立っています！

当社草むしり事業部の仕事のひとつには、瓦修理をはじめとした屋根に関するご相談と施工があります。今ではすっかりお客様にも知られていて、たくさんのご利用をいただいています。

今回は、「樋の掃除」

2年前に瓦の修理をさせて頂いたお客様から、今回は「樋の掃除」をお引き受けいたしました。

写真でお判りいただけますように、この2年の間にこんなにたくさん土が風で運ばれていました。まるで雨樋の部分がプランターのように。植栽したかのように立派な草が生えてしまっていましたね。これでは樋が役目を果たせていません。きつとお困りだったことでしょう。私たちにお任せいただいたので、こうしてスッキリと片付けて解決です！

働く仲間の色々な経験と
技術を活かしながら

担当した藤澤チームのリーダー・藤澤秀樹さんは、元々が瓦職人で瓦の専門家です。そんな藤澤さんだからこそ、ついつい屋根に目が行ってしまうのでしょう。草むしりの仕事でお伺いしたお客様宅で、汚れて詰まっていた雨樋が気になり、「きれいに掃除しておきましたよ」とお声をかけ。お客様から大変喜んでいただく機会が増えると共に、「屋根のご相談」もどんどん増えていきました。

最近では屋根の修理にとどまらず、雨漏りで傷んでしまったお家の中のリフォームのご相談もいただいています。そんな時は専門の業者さんのお力もお借りしながら、お客様の不安解消にお応えしています。お気軽にご相談下さい。



「長期留守宅」の清掃管理もお引き受けしています

信頼関係があったからこそ、ご依頼いただけましたお仕事だと思います。ご家族が施設に入居されて“留守宅”になってしまうお家の管理について、ご相談を頂いたことがきっかけでした。長期の管理が必要なお家の場合、定期的に家屋内外の清掃を続けながら管理させていただいています。お家の中のお掃除だけではなく、お客様の大切なお庭もきれいに維持しています。



留守宅の清掃について、気をつけている点を少しご紹介させていただきます。
お客様の立ち会いが叶わない場合は、家具や備品などの状態は元通りの状態にしておくことを心がけています。勝手に別の所へ動かしたり、片付けたりはしません。
また少しでも状態に変化があれば、写真を撮って報告することを徹底しています。
私たちはお掃除専門の業者のような特殊な道具や洗剤は使用していません。家具や床などは特殊な素材や加工の物もありますので、細かな情報が得られない場合の清掃は、お家を傷めないことを一番に丁寧に作業させて頂いております。





「草むしり日記」 No.59

朝、私たちの一日はその日に必要な道具の積み込みから始まります。現場へ向かい、お客様宅では黙々と仕事をこなし、夕方、作業終了後は倉庫に戻って翌日の作業のために道具の手入れをしてから片付けます。現場は、ほとんど毎日違い、そこではお客様が私たちを待っていてくれます。この、必要とされている仕事に、仲間と一緒に気持ちを込めて取り組んでいます。



お酒は飲まないんですよ。コーヒーが好きでブラックをがぶ飲みします。ポウリングが得意で年会費を払って会員になっているんですがしばらく行ってないな。

「人生は一度きり。苦もあれば楽もあり！ですよネ」 アルバイト 梶原義弘さん(62才)



志度鴨庄出身。高松商業からメーカーでのセールスを定年まで勤めあげた後、中谷石材で草むしりの仕事に飛び込みました。アルバイトとして働くようになって丸3年と少し過ぎました。

中谷石材は、通勤の利便性もよく、高等技術学校で身につけた技術が活かせると思って応募しました。

夏の暑さだけはいかんだけど、3年過ぎました

働いてみると、夏の暑さだけがいかんなあ。一昨年の暑い最中は、熱中症になりかかって大変でした。仕事は、斜面での作業や脚立の上での作業には最新の注意を払って取り組んでいます。

そんな中でも先輩からのアドバイスを受けたり、休憩中に飲み物や、差し入れで戴いたアイスクリームを皆で食べたりなど、癒されることもあります。



数年前の剪定中の写真です。今はこの頃よりもずっと腕を上げました！

草むしりに入って最初はチラシ配りもしました。リーダーからこれは切ったらいかんと言われたのを切っちゃったり、抜くなよ！と言われていたのを抜いてしまったり、踏むなよといわれた草花を踏んでしまったり：失敗もします。します。しますよ。そりゃ失敗もします。そんな時？そんな時は謝るんです。謝ってます。

**週に4日仕事をして
空き日は毎日釣りへ！**

この仕事をするようになってからは、体を動かしているのが薬が減りました。目下の目標はお客様に喜んでいただけるような仕事、特に綺麗な剪定を身に付けたいと思っています。

私の仕事は、週4日(月・火・水・土)にしてみらっています。住んでいる家の前が海なので、それ以外の空き日は毎

日のように釣りに行っていきます。90才になる父のボートに乗って海釣りに行き、鯛、ハマチ、ヒラメなどを釣るのが楽しみです。

仲間の中には70才を越しても頑張ってる人もおるけど、自分は70才ではリタイヤかなあ。でも、あと4〜5年はみんなと一緒に頑張つて、その後は釣りで鯛やハマチの大き物を釣って稼いで暮らしていけたらええの。笑 そう思ってるんですわ。

**まだあと4〜5年は
皆と一緒に頑張りたい
そう思ってますよ**

人生は一度きり。苦もあれば楽もあり！ですよネ。今は、まだもう少しこの仕事に自分なりの目標や意義を見出して、楽しみながら、仲間と助けあって和気あいあいと取り組んでいきたいと思っています。



梶原義弘

佐々木班



私たちと一緒に働きませんか？

班を率いて営業をやりたい方、週に何度か、空いた時間を利用して働いてみたいという方もどうぞ！職場体験からでも始めてみませんか？

仲間を募集しています！

お庭の困り事のご相談は…

草むしり.com 高松

フリーダイヤル

0120-148-144

今月の社長のコラム

渦中に福あり

「この互恵だよりも折に触れて書いて参りましたが、墓石業界はかなり以前から長期下落傾向にあります。

高度成長期からバブル期を経て、この2000年代までの間に多くの日本人はお墓を整備したり、新たに建立したりすることが出来ました。それ以降は「墓じまい」という言葉が広く使われるようになり、今ではお墓を片付けることがまったく珍しくない世の中となつてしまいました。

事業では、自らの努力で変えられるものと、そうでないものを見極めることも非常に重要です。変えられないものについては「環境」として捉える必要があります。夏は暑いとか、国の人口が減ったとかいうことは、自分や自社の努力でどうにか出来ることではありません。こういうことを「環境」と呼びます。

そして会社を続けていくためには、その環境に合わせていく努力をしていかなければなりません。私たち中谷石材も、かつてとはすっかり様変わりした石材業界の環境に適合するための変革を推し進めている真っ最中です。

少し大きめに言いますと、今年は胸突き八丁の正念場を迎えていると思っております。経営の勝負所です。それくらいの覚悟です。

変えられるものと、そうでないものを見極めながら変革を！

かと言って悲壮感があるかといえば、全然違います。少し面白いです。また、社員と力を合わせてこの難所を乗り越えられるという確信もあります。乗り越えたときに社員の一人一人がどのように変わっていて、何を掴んでいるかということが楽しみでなりません。

誤解を恐れずに言いますと、この坂を登り切るのが予想外に難しく立ち往生したとしても、それもまた一つの機会として社員が大きく成長して行くのならば本望です。今の社会に絶対に必要な仕事だと確信して始めた草むしり事業とともに、当社の社員一人一人も、きっと世の中に有用な人材として長く活躍してくれるでしょう。

経営が大変なときも、悪いことばかりではありません。会社全体がこれまで以上に助け合う。成長する。前向きになります。渦中に福あり、です。

社長 中谷明生



1月26日(土)
「全社一斉環境整備」で集合！

今年最初の全社一斉環境整備は、久米山でした。作業の様子は2ページでもご紹介しています。



社内報 情報管理室(in本社) 「ニュースレター」 38号より

参観日

先日、小学校で子供たちの参観がありました。娘のクラスでは、子供たちが作った手作りのかるたで遊びました。

学校にまつわることや、先生のことクラスのお友達のこと、さまざまな内容のかるたがありました。その内容に沿って描かれた絵が個性豊かでも可愛かったです。

子供たちがかるた遊びをしているところを見たあと、次は保護者も参加して子供たちと一緒にかるたを楽しみました。娘はこの日に向けて勝つために「ママ、かるたしよう♪」と最近よく言ってきたので、練習のおかげかたくさんとれて嬉しそうでした。

次に息子のクラスを見に行きました。息子のクラスでは2分の1成人式をすると聞いていました。牟礼町のいいところ、好きなどころをみんな話したり、10年後こんな牟礼町になってほしいな...と思うことを発表し合ったりしていました。

子供たちは遊園地ができてほしい...とかゲームセンターが近くにあっていいな...などいろんな意見が出てきて夢が膨らむなあと明るい気持ちになりました。先生は子供たちに、大きくなったら君たちが牟礼町の未来を変えていける人になってくださいね!とお話されていました。息子たちが大人になった時どんな町になっているだろう...
(^^)

最後に子供たちから保護者に向けて歌と手紙をプレゼントしてくれました。

「10年間育ててくれてありがとう。これから立派に大きくなります」と力強いメッセージを届けてくれました。今回の参観でも2人の成長をたくさん見る事ができてとても良い時間でした。

本社 情報管理室



屋島側から望む 本社工屋



やすらぎの社にて

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を...
NS 中谷石材株式会社

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



草むしり.com 高松

フリーダイヤル 0120-148-144